

飯館村村民気持ち調査集計結果

No	健康	%	○の数
5	放射能による健康被害の恐れが心配	64.4%	371
6	飯館村は子供や孫、友人が遊びに来られる環境ではないと思う	72.4%	417
7	飯館村は子供や孫と暮らせる環境ではないと思う	76.6%	441
65	子供たちの健康調査の時期が遅く、精密検査が不十分で心配	39.6%	228
1	放射能が年間1mSv以上は健康に悪いと思う	52.4%	302
2	放射能が年間5mSvまでは安全だと思う	12.7%	73
3	放射能が年間20mSvまでは安全だと思う	6.1%	35
4	放射能が年間100mSvまでは安全だと思う	2.1%	12
40	村役場のリスクコミュニケーションが完璧で何の不安も無い	1.4%	8
41	山下先生の講話で放射能を恐れる必要がなくなったので安心	1.0%	6
除染			
30	経済的にも助かるので除染作業に参加したい	4.2%	24
50	今後の除染や帰村など重要な問題は村長の判断に任せるべきだ	5.4%	31
32	除染作業しか収入がなければ除染作業をする	9.2%	53
33	他に仕事があれば除染作業には参加したくない	22.9%	132
62	健康面に不安があるので除染作業には参加しない	37.2%	214
帰村・家族・移住			
28	仕事があるため移住はできない	4.9%	28
50	今後の除染や帰村など重要な問題は村長の判断に任せるべきだ	5.4%	31
53	家族と別居しても帰村したい	1.7%	10
56	家族があるので帰村したい	4.2%	24
54	家族があるので移住できない	3.6%	21
51	家族と一緒に生活がしたい	51.0%	294
57	家族があるので帰村できない	16.8%	97
55	家族があるので移住したい	18.6%	107
14	移住先の斡旋をしてほしい	23.6%	136
11	移住先に仕事があれば移住したい	24.0%	138
52	家族と別居しても移住したい(移住させたい)	7.5%	43
27	新飯館村を村が建設して集団移住したい	28.5%	164
15	移住後新生活が安定するまで各種補償の継続が必要	71.4%	411
13	県外に移住しても健康に対する補償を長期に約束してもらうことが必要	63.7%	367
29	体力が有るうちに新生活に移りたい	48.8%	281
子供			
58	小学生、中学生を村に戻して早く学校を再開してほしい	1.6%	9
61	村の子供たちは全員とりあえず川俣の仮設の小中学校に通わせるのが良い	15.3%	88
65	子供たちの健康調査の時期が遅く、精密検査が不十分で心配	39.6%	228
60	子供は親と一緒に暮らしている避難、移転先の近くの学校に通った方が良い	35.2%	203
59	子供たちを村に戻すことは危険だと思う	60.2%	347
6	飯館村は子供や孫、友人が遊びに来られる環境ではないと思う	72.4%	417
7	飯館村は子供や孫と暮らせる環境ではないと思う	76.6%	441
行政の対応			
9	放射能による最新の汚染状況を出来るだけ素早く知らせてほしい	52.8%	304
25	国や村は村民をもっと早く避難させるべきだったと思う	78.3%	451
24	村の原子力災害に対する対応は間違いやまずい事が多かったと思う	60.2%	347
26	村の重要な施策については住民投票で決めるべきだ	53.6%	309
34	村が信用出来なくなった	42.2%	243
23	役場で東電に対する賠償の集団訴訟を起こしてもらいたい	71.2%	410
75	村が賠償の請求を手伝うべきだと思う	56.9%	328
79	原子力損害賠償紛争審査会は東電の擁護をしているようにしか見えない	38.9%	224
80	原子力損害賠償紛争解決センターは住民の訴えを一刻も早く取り上げて解決すべきと思	48.8%	281
81	原子力損害賠償紛争解決センターの使い方、訴訟の起こし方を知りたい	21.0%	121
19	政府の帰宅困難地域等3区分案は村が壊れるので反対だ	47.7%	275
21	政府の帰宅困難地域等3区分案は村が壊れると言う村長の意見に賛成	21.5%	124
20	政府の帰宅困難地域等3区分案に賛成だ	10.9%	63

10	放射能の汚染に関する情報はもう聞きたくない	12.7%	73
22	村は移住を選択する人には冷たいが村とは関係がなくなるので当然である	7.5%	43
31	見回り隊に参加出来て経済的にも助かっている	12.5%	72
37	村内の工場の操業を認めてくれて経済的に大変助かっている	4.5%	26
38	仮設住宅の出来が良く運営もまでいで助かっている	4.7%	27
39	計画的避難区域に指定されたお陰でゆっくり避難出来たので助かった	8.3%	48
35	村長、村役場はまでいに対応してくれて安心	5.2%	30
36	村議会は村民の意見を良く聞いて村の施策に反映してくれているので安心	1.7%	10
42	避難地域にもかかわらず、草刈、除雪が完璧で助かっている	8.9%	51
43	仮置き場を小宮住民の反対を押し切って決めたことは英断である	13.7%	79
44	村民の意向を聞く等、手間暇を省いて速やかに復興計画を独断で作ったのは英断である	5.7%	33
45	村は東電に対する賠償要求を保留しているが当然の措置である	5.0%	29
46	村は個人の補償請求に一切関知しないが役場の業務ではないので当然である	4.7%	27
47	村は個人の賠償に関する集団訴訟には否定的だが当然である	2.3%	13
48	村の原子力災害に対する対応はおおむね良かったと思う	2.4%	14
49	避難時期や仮設住宅、除染計画など国と村の対応にはおおむね満足している	2.4%	14
	補償・賠償		
63	健康診断や治療の補償をしてほしい	51.2%	295
72	満足のいく金額で土地建物の買い取り、借り上げをしてほしい	69.6%	401
73	帰村した場合、現在の補償の打ち切りが心配	53.0%	305
74	納得のいく金額の賠償をしてほしい	72.6%	418
77	東電は資産を含めた賠償を早急に行うべきだと思う	65.5%	377
78	東電の作った請求書では賠償金額が足りない	59.2%	341
79	原子力損害賠償紛争審査会は東電の擁護をしているようにしか見えない	38.9%	224
80	原子力損害賠償紛争解決センターは住民の訴えを一刻も早く取り上げて解決すべきと思	48.8%	281
81	原子力損害賠償紛争解決センターの使い方、訴訟の起こし方を知りたい	21.0%	121
82	東電と国は被災前の飯館村と同等の価値(地価ではなく)を今すぐ賠償するべきである	57.5%	331
86	東電は被災前の地価で土地建物の賠償を今すぐすべきである	49.0%	282
13	県外に移住しても健康に対する補償を長期に約束してもらうことが必要	63.7%	367
15	移住後新生活が安定するまで各種補償の継続が必要	71.4%	411
	環境・経済		
6	飯館村は子供や孫、友人が遊びに来られる環境ではないと思う	72.4%	417
7	飯館村は子供や孫と暮らせる環境ではないと思う	76.6%	441
8	環境こそが飯館村の価値であり、放射能がその価値をすべて奪ったと思う	72.9%	420
12	飯館村の環境は破壊され元に戻る見込みはないと思う	75.5%	435
16	帰村しても農業ができるか心配	52.6%	303
17	帰村しても山菜や農産物が食べられるか心配	53.6%	309
18	帰村しても今勤めている会社が村に残るか心配	12.2%	70
51	家族と一緒に生活がしたい	51.0%	294
30	経済的にも助かるので除染作業に参加したい	4.2%	24
31	見回り隊に参加出来て経済的にも助かっている	12.5%	72
37	村内の工場の操業を認めてくれて経済的に大変助かっている	4.5%	26
32	除染作業しか収入がなければ除染作業をする	9.2%	53
	政策提案		
43	仮置き場を小宮住民の反対を押し切って決めたことは英断である	13.7%	79
44	村民の意向を聞く等、手間暇を省いて速やかに復興計画を独断で作ったのは英断である	5.7%	33
20	政府の帰宅困難地域等3区分案に賛成だ	10.9%	63
50	今後の除染や帰村など重要な問題は村長の判断に任せるべきだ	5.4%	31
19	政府の帰宅困難地域等3区分案は村が壊れるので反対だ	47.7%	275
26	村の重要な施策については住民投票で決めるべきだ	53.6%	309
83	移住または相当の賠償がされれば村に放射性廃棄物の中間処理施設を誘致してもよい	29.3%	169
84	移住または相当の賠償がされれば安全な地層処分を条件に放射性廃棄物の最終処分場	24.5%	141
85	最終処分場からの収益を確保して新しい飯館村を別の土地に建設してもよい	22.2%	128